

高知商業高校校友会南国支部

第21回 通常総会（平成31年・令和元年度）

南国支部第21回総会は、平成31年5月11日（土）地元の「グレース浜すし」において31名が参加して開催。

来賓には、正木陽教頭先生、校友会本部から矢野平八会長等のご来駕を仰ぎ、肅々とした中にも懐かしさを含んだ会になった。

総会に先立ち「ラオスに学校を建設する生徒会活動」に対し1階ロビーで、2時間程度のラオス関連商品販売会を実施、

チラシ・ポスター等での宣伝効果が出たのか、生徒会と参加者の協力の下、活発的に販売活動を実施することが出来た。

続いて2階の総会会場において、プロジェクターやスクリーンを利用して、生徒が近年におけるラオス事業を中心とした活動の内容発表を行った。失敗談やこれからの方向付け・体験して気が付いたこと等を、生徒自身の言葉で会場に報告し参加者からは非常に共感を頂いた。

毎年ではあるが、次第に報告のスタイルや内容も細やかになり、堂々とした姿勢に感心し、参加者からは感嘆の声が上がり、応援の拍手が沢山贈られた。



ラオス関連商品の販売



生徒会によるラオス事業報告会



総会は、竹崎副支部長の挨拶で開会、物故校友に黙とう、校歌斉唱、三谷支部長挨拶と続き、議長の選出では執行部一任となり三谷支部長が議長に選任、審議では本総会上程された

①第1号議案「平成30年度事業報告ならびに収支決算報告、当期剰余金処分（案）承認の件」を全会一致で可決承認された。

来賓祝辞においては、矢野平八会長が挨拶を行った。

もうお一方は正木教頭先生からご祝辞を頂戴した。学校の現況報告を頂き、今後の校友会南国支部の運営に対し大きなアドバイスを賜った。



通常総会は滞りなく式典を進行、岡本副会長の閉会の挨拶の後、記念撮影、懇親会へと移行した。

懇親会の冒頭は応援歌を斉唱、懇親会は各テーブルとも和気あいあいと賑やかに行われた。

今回も関係者に対し総会案内状を配布、南国支部は会員対象者が多数おり、通知のための費用は随分必要だったが、新規参加者の顔が増えていたのが嬉しい事だった。反面、残念ながら高齢の先輩からは、身体の不調や家庭の事情で不参加の通知を頂いた方もいた。今後は頂いたデータを元にして、次第に会員を精査・把握していく方向性が必要になると考える。

その後、恒例の記念撮影を行った後、懇親会を開会した。南国の宴席もご多分にもれず高知流で、三十分ほどでビールや酒持参の移動が始まり、誰の席やら分らないくらい動き回り、毎年の事であるが賑やかに交流を深めることができた。

久しぶりに会うとやはり懐かしいのか、当時の思い出話に花が咲き、またこれからの会運営の方向などが話し合われ、ラオス事業をなお一層推進するほか、近隣校友会と交流を行えばさらに発展するなど意見や討論が行われ、いつまでも賑やかな懇談が続き中締め後、会場の係員に促されてやっと宴席を後にして二次会会場へ連れだつて移動した。



高知商業高校校友会南国支部 第21回通常総会(平成31年・令和元年度)
令和元年5月11日(土) 於: 南国グレース浜すし